

# 令和5年度 山形県立図書館 電子書籍サービス導入に向けた 調査研究事業



## 電子書籍サービスについて

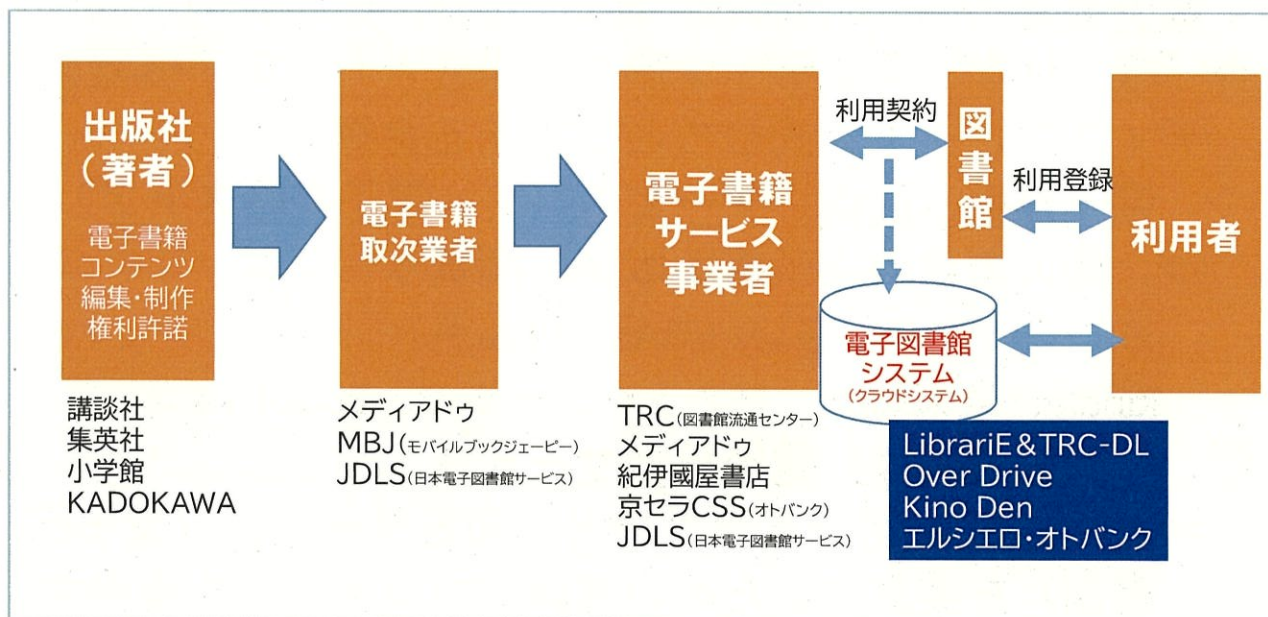
- **電子書籍**（デジタル書籍、電子ブック、Eブック）
  - ⇒ 紙ではなく電子データ形式で作成され、電子機器のディスプレイ上で読むことができる書籍
- ◇ **電子書籍（配信）サービス**（又は**電子書籍ストア**）
  - ⇒ 個人向けの電子書籍販売・閲覧サービス
    - ※ コミックスが多い（市場をけん引）
    - Kindle、楽天kobo、コミックシーモア、Book Live 等
- ◇ **（図書館向け）電子書籍サービス**
  - ⇒ 図書館が電子書籍の貸出・閲覧サービス（電子図書館）を実施するための基盤・コンテンツを提供するサービス ※ **図書館によるサービス自体**を指すことも LibrariE&TRC-DL、Kino Den、Over Drive、Maruzen Ebook 等

# 主な電子書籍サービスの比較

サービス提供事業者	㈱図書館流通センター (TRC)	㈱メディアドゥ	㈱紀伊国屋書店	丸善雄松堂㈱
サービス名	LibrariE & TRC-DL (ライブラリエ アンド ティーアールシーディーエル)	Over Drive (オーバードライブ)	Kino Den (キノデン)	Maruzen Ebook (マルゼン イーブック)
サービス開始	2011年1月	2006年11月	2018年1月	2012年2月
タイトル数	133,458 <2023.3現在>	3,674,000 (うち国内出版社74,000 海外出版社3,600,000) <2023.2現在>	72,000 <2023.3現在>	150,000 (うち公共図書館向けは 82,000) <2023.4現在>
品揃えの特徴	一般書・読み物系が充実し、公共図書館への導入は最多。市町村図書館での導入が多い。	米国OverDrive社との提携により、海外作品・洋書が充実。	専門書、実用書が充実し、道県立図書館での導入が多い。	学術書・専門書が充実し、高等教育機関での導入が多い
文字拡大や音声読み上げに対応したタイトル (数字はタイトル数の内数)	EPUBリフロー形式 23,000 (文字拡大・機械音声) Audio Book 2,000 (プロのナレーション)	洋書について、ネイティブな発音の読み上げ機能やAudio Book (380,000) あり ※視覚障がい者向け電子図書館サービス「アクセシブルライブラリー」を市町村向けに別途展開	EPUBリフロー形式 8,600 Audio Book 3,000	EPUBリフロー形式 6,500 Audio Book 4,000
図書館へのコンテンツ提供形態	有期限・回数制限型/買切り ※タイトルによる	有期限・回数制限型/買切り ※タイトルによる	買切り	買切り
ユーザーの利用形態	貸出	貸出	閲覧	閲覧
図書館独自資料のアップロード	○ (10GB超は有料)	○ (無料)	○ (有料)	×
導入自治体数 (うち都道府県) R5.7.1現在	353 (5)	123 (1)	31 (17)	1 (1)
その他の特徴など	・TRC-DLを提供するTRCとLibrariEを提供する㈱日本電子図書館サービスが提携して一体的にサービスを提供	・学校の語学教育支援のため、洋書については著作権フリーで学校現場での授業利用(電子黒板への投影、各自のタブレットへの送信)が可能	・一部のタイトルについて、1回60ページまでの印刷又はPDF形式でのダウンロードが可能	

3

## 電子図書館（電子書籍サービス）の仕組み



※ (一社)電子出版制作・流通協議会(電流協) 長谷川智信氏 による本県公共図書館職員向け研修資料(R5.7.20遊学館)を抜粋・簡略化して作成



## 当館運営の指針「山形県立図書館運営基本プラン2025」

リニューアルによって充実された機能を最大限に活用し、すべての県民が利用しやすい図書館づくりを進めるための中期的な取組みの指針

### ◇実行期間

令和4年度～令和7年度の4年間

### ◇基本理念

**県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献する図書館を目指します**

### ◇基本理念到達のための「3つの行動指針」

#### ①ときめく図書館

～学びの意欲を喚起する空間の提供～

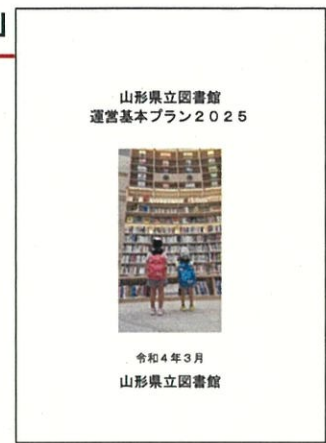
#### ②たよれる図書館

～県民を支える資料の収集・活用と県内図書館との連携強化～

#### ③つながり・ひろがる図書館

～ICT活用・デジタル化と連携・協働によるサービスの充実～

- (1) インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進  
⑦ 電子書籍サービスの検討



## 山形県立図書館における電子書籍サービスの導入検討について

### (1) 導入検討を進める主な理由

- ・ GIGAスクール構想による1人1台端末整備、デジタル教科書の普及（R4.3 本県43.3%）  
⇒ 端末で本を読むことが普通な時代へ
- ・ 県立図書館として、県全域からの利用を促進
- ・ 読書バリアフリーの推進（R1.6 法施行）
- ・ 令和4年度の図書館情報システム更新時に図書館向けサービス（Kino Den）の導入に対応可能なシステムを構築
- ・ 今や公立図書館の28.4%（電流協調査R5.7.1現在）、都道府県立では48.9%（23館）が導入

# 山形県立図書館における 電子書籍サービスの導入検討について

## (2) 調査研究事業（R5）の内容・スケジュール

- ①各都道府県の導入状況の調査（3～4月）
- ②各事業者のサービス内容の調査（4～5月）
- ③他県先行導入館（2館）への訪問調査（6月）
- ④利用者ニーズ把握のためのアンケート（7月）
- ⑤県内公共図書館職員による勉強会、意見交換（7/20）⇒市町村の意向確認（8月）
- ⑥山形県図書館協議会での意見聴取（9月）

7

## ①各都道府県の導入状況-1

No.	導入館	サービス	導入年月	市区町村数	導入市区町村数 (R5. 7. 1)			備考
					導入前	左以外	計	
1	北海道立	Kino Den	2022年4月	179	11	3	14	
2	青森県立	Kino Den	2022年2月	40	2	0	2	
3	群馬県立	Kino Den	2023年1月	35	4	1	5	
4	東京都立	TRC-DL EBSCO Ebooks	2013年12月	62	1	31	32	(参考) 31市区のサービス ※複数サービス3市区 LibrariE&TRC-DL:25 Over Drive:4 その他:5
5	神奈川県立	Kino Den	2022年6月	33	9	7	16	
6	富山県立	Kino Den	2023年3月	15	3	0	3	
7	山梨県立	TRC-DL	2012年11月	27	0	2	2	
8	県立長野	Kino Den Over Drive	2022年8月	77	1	76	77	77市町村は県と「デジとしよ信州」(Over Drive)を共同運営
9	岐阜県	Kino Den	2019年7月	42	2	6	8	
10	静岡県立中央	Kino Den	2021年10月	35	4	5	9	
11	愛知県	Kino Den	2021年1月	54	6	13	19	
12	京都府立	Kino Den エルシエ オートイブッ	2022年4月	27	3	2	5	
13	兵庫県立	Maruzen eBook Library	2023年4月	41	19	0	19	導入済み19市町のうち広域実施4市町
14	広島県立	LibrariE&TRC-DL	2020年7月	23	3	5	8	(参考) 5市のサービス LibrariE&TRC-DL:3 Over Drive:2
15	山口県立山口	Kino Den	2021年10月	19	4	5	9	
16	徳島県立	Kino Den	2018年4月	24	1	3	4	

8



# ①各都道府県の導入状況-2

No.	導入館	サービス	導入年月	市区町村数	導入市区町村数 (R5. 4. 1)			備考
					導入前	左以外	計	
17	高知県立	LibrariE&TRC-DL	2017年10月	34	0	1	1	電子雑誌閲覧サービスKono Librariesを併せて実施 (参考) 1市のサービス:Over Drive
18	福岡県立	Kino Den LibrariE&TRC-DL	2020年10月	60	4	24	28	2022年1月にLibrariE&TRC-DLを追加 その後の導入市町:14 (うち広域実施:7市町) (参考) 14市町のサービス LibrariE&TRC-DL:13 Over Drive:1
19	佐賀県立	Kino Den	2022年4月	20	0	1	1	
20	長崎県立	Kino Den	2023年2月	21	4	1	5	県立・大村市立合築 (「ミライオン」)
21	大分県立	Kino Den	2021年3月	18	3	2	5	
22	沖縄県立	Kino Den	2021年3月	41	5	18	23	2023年3月に県が図書館未設置の10自治体 (島嶼部) 向けのサービス (Kino Den) を追加
R5. 7. 1 現在		Kino Den	17	77. 3%				
		TRC-DL (&LibrariE)	5	22. 7%				
		その他	4	18. 2%				

(R5. 7. 2~導入)

23	新潟県立	Kino Den	2023年7月	30	3	0	3	
R5. 8. 21 現在		Kino Den	18	78. 3%				
		TRC-DL (&LibrariE)	5	21. 7%				
		その他	4	17. 4%				

9

# ①各都道府県の導入状況-3

## 東北各県の状況

R5.7.1 現在

No.	図書館	サービスの導入状況	県内市町村数	うち導入済み市町村		備考
				数	名称	
1	青森県立	実施中	40	2	三沢市 (LibrariE&TRC-DL) おいらせ町 (LibrariE&TRC-DL)	
2	福島県立	前向き検討 (調査研究実施)	59	5	福島市 (LibrariE&TRC-DL) 郡山市 (LibrariE&TRC-DL) いわき市 (LibrariE&TRC-DL、Kino Den) 須賀川市 (LibrariE&TRC-DL) 伊達市 (LibrariE&TRC-DL)	
3	山形県立	前向き検討 (調査研究実施)	35	1	東根市 (LibrariE&TRC-DL)	酒田市が雑誌閲覧サービス「dマガジン for Biz」実施
4	岩手県立	その他 (内部検討など)	33	5	宮古市 (LibrariE&TRC-DL) 久慈市 (LibrariE&TRC-DL) 一関市 (LibrariE&TRC-DL) 矢巾町 (Over Drive) 平泉町 (Over Drive)	
5	宮城県立	その他 (内部検討など)	35	2	仙台市 (LibrariE&TRC-DL) 白石市 (LibrariE&TRC-DL)	
6	秋田県立	その他 (内部検討など)	25	0		2012年10月 サービス導入 2018年12月 サービス終了

10

## ①各都道府県の導入状況-4

---

### 市区町村立図書館との機能分担・ 棲み分けについての考え方 (4/1現在導入館からの御回答)

次の内容の回答が大半 (15館/21館)

住民の調査研究・課題解決を支援するための  
専門書・学術書・実用書・参考図書を中心に整備

⇒ 一般書(・児童書)等を中心に整備する市区  
町村と棲み分け

11

## ①各都道府県の導入状況-5

---

### 導入後の主な課題

(4/1現在導入館からの御回答/複数挙がったもの)

- 予算の継続的な確保 7館
- 利用促進のための広報 7館
- 都道府県立図書館向けに提供可能なコンテンツ  
の充実(出版社側の問題) 4館
- 利用状況の分析・評価 3館  
(Kino Denは利用者属性のデータが取れない)

12



### ③他県先行導入館への訪問調査-1 【6/7 県立長野図書館】

R4.8～ Kino Den、Over Drive (市町村との協働電子図書館「デジとしよ信州」)



#### 1. 長野県における電子書籍サービス実施内容



他県における今後の導入モデルとなり得るのでは

#### 2. 「デジとしよ信州」成功の要因 (ヒアリング結果の整理)

- 事業検討のためのWGの下で、市町村が主体となった部会やミーティングを重ねた結果、市町村が県の事業に乗るのではなく、市町村が主体となり県と協働するという認識を共有し、これを踏まえて事業スキームを構築することができた
- 全市町村参加に至ったことで、財源が確保できた
  - ・ 市町村予算 (参加しない市町村がなかったことで財政部門を説得できた)
  - ・ 県予算 (一般書中心のサービス導入に関して財政支出を行う理由が立った)
  - ・ 市町村振興協会からの宝くじ助成金 (20,000千円)
- 「長野県DX戦略」(令和2年7月策定)に基づくプロジェクト推進のための県・市町村協働の枠組み(素地)が既にあり、かつ、技術的課題への対応や市町村との協働において県DX推進課が主体的に関わってくれた



簡単に横展開できるものではなさそう



## ③他県先行導入館への訪問調査-2 【6/27 青森県立図書館】

R4.2～ Kino Den



### 1. 導入経緯

- 平成28年度に「電子図書館化推進構想」を策定し、導入を目指すこととしたが、図書館向けサービスがなかなか充実されず、時期尚早として見送られてきた。令和2年度のコロナ禍で対人サービスの一時停止や臨時休館を余儀なくされ、再度導入の方向となった。
- 令和3年度の図書館情報システム更新においてKino Den対応のシステムが導入された。
- コスト、市町村との棲み分け等を考慮し、Kino Denを選定。

### 2. 現状・課題

- 全体的に使い勝手は良いと感じている。
- 本文検索もできるなど検索機能に優れ、レファレンスにも活用。
- 「閲覧サービス」であることについての問題は感じない。
- 児童書のタイトルが極少であり、学校の「朝読書」には不向き。
- アクセス数しか把握できないため、利用実態の把握に難あり。<sup>15</sup>

## ⑤県内公共図書館職員による勉強会、意見交換

### 県内公共図書館（室）実務者会議（7月20日）

【午前】研修「電子図書館・電子書籍サービスの現状と課題」

講師：（一社）電子出版制作・流通協議会 長谷川智信氏

- ・ 導入自治体数は、2020年4月1日で94だったが、コロナ禍を経て急増、2022年4月1日で300を超え、2023年4月1日には500を超えた（5倍増）。
- ・ 文部科学省でも、1人1台端末環境下の学校教育における公立図書館の電子書籍サービスとの連携を推奨。また、児童生徒が学齢期を終えても電子資料を用いた学びを継続できる環境整備が必要と考える。
- ・ 今後、特に基礎自治体（市町村）での導入と教育利用（政府による促進策も含め）が進むことを期待する。
- ・ 「デジとしょ信州」は長野県特有の好条件が重なって実現。他県で同様に実施しようとしてもハードルが高い。
- ・ 連携可能な近隣の複数市町村で広域導入する例も増えてきた。こちらのほうが現実的だと考える。

【午後】会議の協議事項の1つに設定し、市町村図書館職員と意見交換



## 市町村図書館からの意見等

- ・県立図書館における電子書籍サービスの導入・実施には賛成。県と市町村の役割分担や棲み分けについては、適宜情報共有等をお願いする。
- ・県立図書館は、専門書に重点化をしていただき、市町村図書館(室)では一般書等を広く収集していくような、役割分担は必要だと思われる。
- ・学校では、ギガスクール構想の中で1人1台のタブレットの活用があり、その中で電子書籍の運用も始まっている。電子書籍については様々な意見があり、予算面でも導入は厳しい状況だが、県立図書館が先行して導入すれば、市町村図書館は動きやすくなるのではないかと思う。
- ・当図書室と同規模の県内図書室での導入予定等について情報収集したい。
- ・当室は現段階において、当面導入する予定はない。仮に導入する場合、対応職員が少ない、導入後の利用者の拡大（当室の利用世代が高齢者層が多いため、電子系の取り扱い自体が不慣れ）などの不安要素は否めない。導入後の利用者の拡大について、他館での効果的な方策なども研修会で紹介していただければ、今後の検討時の参考にしたい。
- ・市町村毎の導入だと負担が重い。長野方式を検討してもらえないか。  
<回答>そのような御意見があったことを今後の検討で念頭に置く。
- ・県立図書館で導入する場合、市町村に費用負担を求めるのか？（心配）  
<回答>市町村との棲み分けを踏まえ、県立としてのサービス（例：Kino Den）を導入するという前提に立てば、求める考えはない。 17

## ⑤-2 県内市町村図書館の検討状況 (R5.8.10まとめ)

電子書籍サービス未実施の県内34市町村図書館中

○導入について検討中	<u>8市町 (23.5%)</u>
・導入を前向きに検討	1市
・近隣市と広域実施の検討着手	3市
・その他	4市町
○特に検討は行っていない、又は 当面導入する考えはない	<u>26市町村 (76.5%)</u>



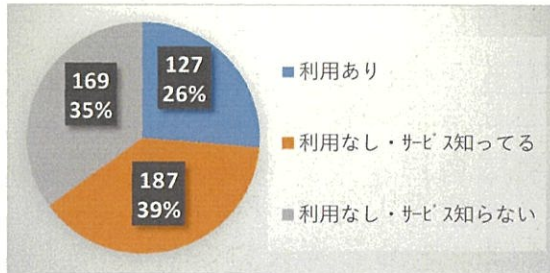
## ④利用者アンケートの結果（部分速報）

- 令和5年度の利用者アンケートに電子書籍サービスに関する設問を追加（6問/全21問中）
- 実施方法及び実施期間
  - ・用紙記入（来館者） 7/11～7/19
  - ・WEB 7/11～7/22
- 回答総数 489名（用紙463、WEB26）
- 電子書籍サービス分を先行集計（その他は集計作業中）

【問11】あなたは自宅に居ながらスマホやタブレットで手軽に読むことができる電子書籍サービス（事業者が実施している有料の個人向けサービスやほかの図書館で実施しているサービスなど）を利用したことがありますか。

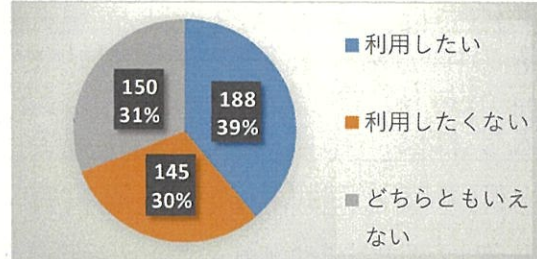
（回答率） （回答数）

98.8%		利用あり	利用なし・サービス知ってる	利用なし・サービス知らない	未記入
	483	127	187	169	6



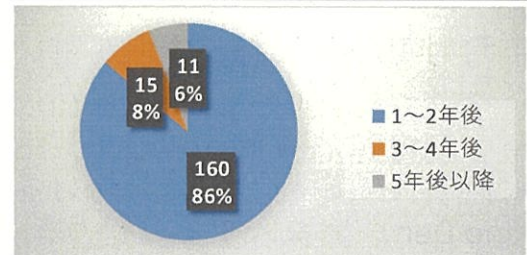
【問12】県立図書館で電子書籍サービスを実施するとしたら利用したいですか。

98.8%		利用したい	利用したくない	どちらともいえない	未記入
	483	188	145	150	6



【問13】問12で「利用したい」と答えた方にうかがいます。県立図書館に電子書籍サービスを導入するとしたらいつがいいですか。

98.9%		1～2年後	3～4年後	5年後以降	未記入
	186	160	15	11	2



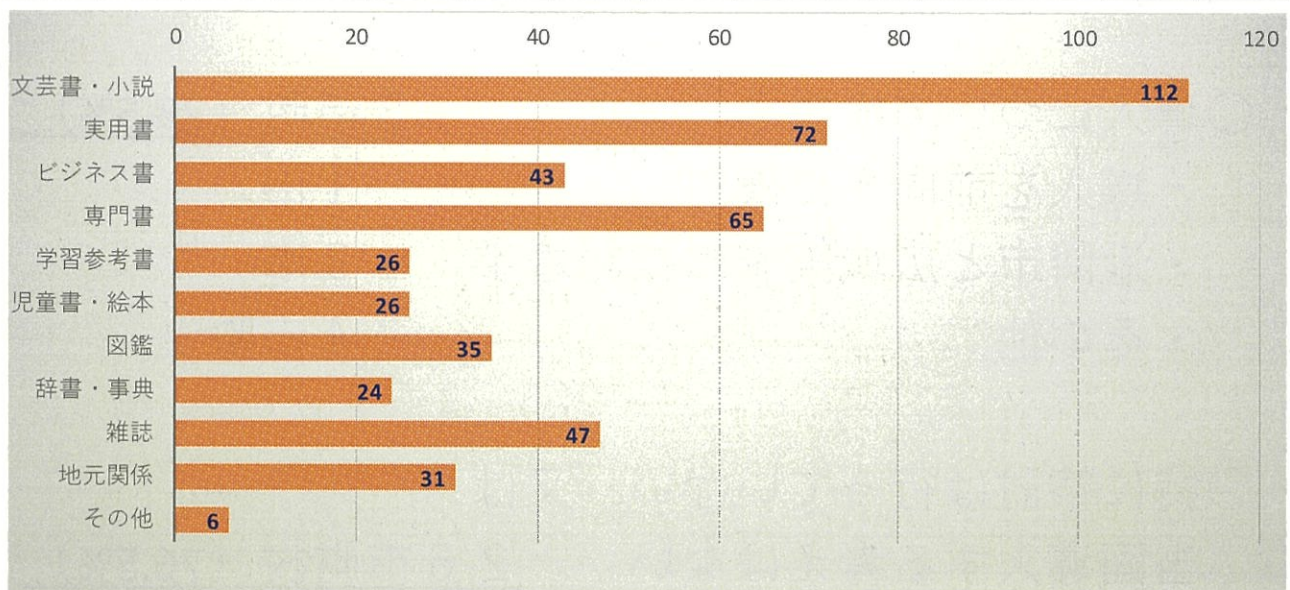
19

## ④利用者アンケートの結果（続き1）

【問14】問12で「利用したい」と答えた方にうかがいます。

県立図書館ではどのようなジャンルの電子書籍を優先的にそろえるべきだと思いますか。（複数回答可）

98.4%		文芸書・小説	実用書	ビジネス書	専門書	学習参考書	児童書・絵本	図鑑	辞書・事典	雑誌	地元関係	その他	未記入
	185	112	72	43	65	26	26	35	24	47	31	6	3



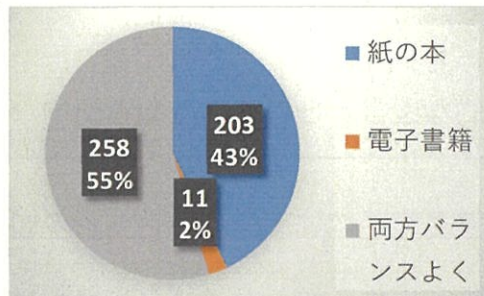
20



## ④利用者アンケートの結果（続き2）

【問15】 今後図書館では紙の本と電子書籍のどちらに力を入れてそろえるべきだと思いますか。

96.5%		紙の本	電子書籍	両方バランスよく	未記入
	472	203	11	258	17



【問16】 電子書籍サービスの導入に関してご意見・ご要望があればご記入ください。

◎様々な視点から両論多数

すぐ読めて便利、遠くの人でも使いやすい、レポートに活用できそう、など好意的な意見がある一方、紙の本しか読むつもりがないのであまり必要性を感じない、読みにくそう、目が疲れそう、などの消極的意見も

(複数要望があったもの)

- 電子書籍を導入しても、紙には紙の良さがあり、図書館として紙の本の整備は不可欠
  - ・子どもに読み聞かせたり子どもが手にする絵本や児童書は紙で備えて欲しい
  - ・デジタルが得意でない高齢者等のために紙の本も同様に充実させて欲しい
- 手続きが簡単、検索しやすいなど、使いやすいものにして欲しい
- 端末の利用（貸出しなど）も検討して欲しい

21

## 電子書籍サービスの導入についての山形県立図書館の考え（現時点）

- 電子書籍サービスについても、紙の本と同様に、県立と市町村図書館の双方が機能分担、棲み分けしながら県民の幅広いニーズに対応できるようにしていきたい
- このため当館では、県立図書館としての役割を踏まえ、県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する専門書、実用書中心のサービスを実施していくことが適当ではないかと考えている
- 市町村で既に導入している館があり、導入検討の動きもある中、長野方式の実現に向け多大な時間を費やすより、こうした市町村図書館の主体的な取組みの拡大を期待しつつ、県立としてできるサービス（県全域対象）を早急に導入することを優先したい
- 電子書籍サービスの導入によって紙の本の整備が後退することが無いようにしたい
- 具体的には来年度予算編成の過程で県教委等と調整していく



# 【参考1】山形県立図書館「資料収集方針」(抄)

## (平成13年11月21日 山形県図書館協議会答申)

### II 図書収集の基本方針

図書資料の収集にあたっては、県民の学習活動等を適切に援助するための県立図書館として、県民すべての利用目的が最大限効率的に実現できるように、個々の利用者の要求を総合的に判断しなければならない。

このため、図書資料の基本的な収集方針を定める。

- 1 県民の要求に応える幅広い図書の収集に努める。
- 2 多様な読書要求に応えるため各分野で基本的な図書からより高度な専門的な図書まで収集するが、学習的、社会的にも評価が高く、かつ、将来的に利用が予想されるものを収集する。
- 3 市町村図書館との協力レファレンスを含む参考業務に役立つ広いレベルの図書を収集する。
- 4 図書館協力の一部として市町村図書館等に貸し出す多様なタイプとレベルの図書を収集する。
- 5 県民及び自治体職員の学習、調査研究の要求に応えるため、生活課題、行政課題に関する図書を収集する。
- 6 県内の各産業の調査研究用図書、参考となる技術書等、職業的な実務に役立つ図書を収集する。
- 7 外国で発行された外国語の原書の収集は原則としておこなわない。
- 8 県民からのリクエストにも積極的に対応する。

23

# 【参考2】「山形県立図書館運営基本プラン2025」(抄)

### IV 取組み方策

2 たよれる図書館 ～県民を支える資料の収集・活用と県内図書館との連携強化～

(1) 県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり (資料収集関連のみ抜粋)

② 全世代の県民の学びと希望の実現を支援する資料の充実

- ・県民及び県内図書館からの高度化、多様化する資料要求に応える新刊資料の効果的な収集と効率的な予算執行
- ・長期的な視点に立ち、県民から必要とされる資料を厳選して収集するための選書方針等の定期的な見直し
- ・市町村図書館や学校図書館が所蔵しづらい専門書の、連続性や関連性等を勘案した体系的な収集

③ 身近な課題の解決を支援する資料とレファレンス(調査相談)の充実

- ・健康・医療や子育て、ビジネスなど暮らしや仕事に役立つ新刊資料の充実
- ・郷土資料や専門書等の蔵書とオンラインデータベース等を活用したレファレンスによる県民の課題解決の支援
- ・課題解決型図書館として、県民の関心や話題性の高いテーマの企画展示やイベントの開催等による能動的なレファレンスの充実

④ 安全安心に役立つ資料の収集保存と活用

- ・関係機関との連携による県内の災害記録等の積極的な収集と防災・減災等への活用

⑤ 県内地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料・情報の収集と提供

- ・先行事例を紹介する資料や新しい制度の解説資料、統計・分析に関する資料など政策決定や情報収集に役立つ資料等の充実

24